

その他の職種における研究

- ・後期高齢開胸術後患者における術後 SPPB 低下に関連する因子の検討(24-19)

後期高齢開胸術後患者における術後 SPPB 低下に関連する因子 の検討

1: 対象

2020 年 1 月から 2024 年 4 月に待機的に開胸術を行われた 75 歳以上の後期高齢患者 100 名程度を対象に行います。

2: 目的

Short Physical Performance Battery (SPPB) はバランス機能、歩行速度、5 回起立時間を点数化し運動機能を簡易的に評価するツールです。待機的開胸術が行われた 75 歳以上の患者さんにおける術後 SPPB が術前と比較して低下する場合に関連する因子を探索します。

3: 研究に用いる試料、情報の種類

日常診療の範囲内での情報（年齢、性別、使用薬剤、検査データ、治療内容、身体機能等）を電子カルテから収集します。本研究は日常診療で得られる情報をもとに、電子カルテから診療情報を収集する後ろ向き観察研究です。

4: 収集した情報の公表

収集した情報は、匿名化し患者さん個人を特定できないように保存します。また研究成果を学会や学術誌に発表することがありますが、これにより患者さんの個人情報外部に流出することはありません。

5: 利益相反

本研究は特定の研究者や企業のために行うものではなく、利益相反はありません。

6: 連絡、問い合わせ先

この研究に関しての問い合わせは下記までお願いします。本研究の対象となることに同意されない場合はお申し出ください。研究対象から除外し収集したデータは破棄します。不同意による診療上の不利益はありません。

三菱京都病院 診療技術部 リハビリテーション科 藤田 祐平

〒615-8087 京都市西京区桂御所町 1 番地 電話 075-381-2111